

教科〔美術〕第〔2〕学年	年間指導計画	
<p>※ 具体的到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、美術に対する関心を高め、自分のよさを生かして主体的に創造していく力を身に付ける。 ・表現の過程で自分の表現意図や構想、表現方法などを常に自己確認・自己評価し、自分らしいよりよい表現をめざして、総合的にまとめ上げる力をつける。 ・主題を発想し想像力を働かせ、単純化や省略、強調、構成の仕方、材料の組み合わせなどを工夫し、独創的で豊かな構想を練ることができる。 ・様々な表現形式や構成、技法などに関心を持ち、そのよさを生かしたり、自分の表現に合う新たな表現方法を研究したりするなど多様な創意工夫をし、表現することができる。 ・用途や機能、使用する者の気持ちなどから独創的な発想をし、形や色彩、材料や用具の効果的な生かし方などを総合的に考え、自分らしく創造的な工夫をして表現することができる。 ・美術作品や生徒作品、文化遺産などのよさや美しさを深く感じ取り味わい、批評し合う力を身に付ける。 ・日本や諸外国の美術の大まかな流れや作品の特質についての関心や理解、見方を深める。 	月	学習内容
<p>※ 評価の観点・方法</p> <p>① 美術への関心・意欲・態度：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 → 課題への取り組み方・発表・学習態度・作品・準備物・提出物などで評価します。</p> <p>② 発想や構想の能力：感性や想像力を働かせて豊かに発想し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造的な表現の構想を練っている。 → 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>③ 創造的な技能：感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。 → 作品・定期テストなどで評価します。</p> <p>④ 鑑賞の能力：感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。 → 授業プリント・レポート・定期テストなどで評価します。</p>	4	<p>《鑑賞》 感じたことを話し合おう</p> <p>《表現》デ・エ 暮らしの中のキャラクター</p>
<p>※ 使用教材</p> <p>教科書 美術2・3上下「美術の広がり」「美術の力」(光村図書) 資料 (浜島書店), レタリング字典 (秀学社)</p>	5	<p>《表現》デ・エ メッセージを伝えるポスター</p>
<p>※ 学習上の注意・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出物の提出期限は必ずまもる。 ・準備や後片付けをきちんとやる。(忘れ物をしない。) ・表現材料や用具・作品を大切にし、丁寧に扱う。 ・構想を練るために資料を数多く活用する。自分で収集する。 ・自分の作品を大切にし、ねばり強く、集中して制作に取り組む。 ・常に見通しをもって計画的に作業し、予定どおりに作品を完成できるように努力する。 ・作品を上手く・早く仕上げることも、強い追求心を持ち、試行錯誤しながら、個性的に考え発想し、技能を工夫し、また、気づき、失敗などの問題をいかに工夫して解決したか等を大切に取る。 	9	<p>《鑑賞》 大地と海の贈り物</p> <p>《表現》絵・彫 躍動感を捉えて</p> <p>(前期テスト)</p>
<p>※ 家庭学習の仕方</p> <p>普段から様々な作品に接する機会をつくる。美術館・様々なメディア(写真・雑誌・本・テレビ・ビデオなど)・映画…、いろんな美術(芸術)に接する機会をもつこと。そして、自分の感性を豊かにしてほしい。</p>	10	<p>《表現》絵・彫 空想の世界を旅する</p>
	12	<p>《鑑賞》 ジャポニスム国境を越える美術</p> <p>《表現》デ・エ パッケージをデザインする</p> <p>(後期テスト)</p>
	1	<p>《鑑賞》 ジャポニスム国境を越える美術</p> <p>《表現》デ・エ パッケージをデザインする</p>
	2	
	3	